

機関名	奈良先端科学技術大学院大学	整理番号	b032
主たる研究科・専攻等名	情報科学研究科情報システム学専攻		
教育プログラム名	未来を切り拓く情報科学人材育成コア		
取組実施担当者 (責任者)	千原國宏		

「魅力ある大学院教育」イニシアティブ委員会における事後評価結果

<p>【総合評価】</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 目的は十分に達成された <input type="checkbox"/> 目的はほぼ達成された <input type="checkbox"/> 目的はある程度達成された <input type="checkbox"/> 目的は十分には達成されていない </p>
<p>〔実施（達成）状況に関するコメント〕</p> <p>「情報科学分野の先端的研究や情報科学と生命科学が関わる広汎な融合研究を推進し、国際的な視野を持って将来の研究開発を担う研究者や技術者を養成する」という研究科の目的を具現化する教育プログラムに沿って、教材関係、特待生制度をはじめとして、英語教育を含めた8項目の新たな企画に関して積極的に取り組み、種々の工夫を重ねて一定の成果と、他大学が参考にできる方向性を提示している点で高く評価したい。このような優れた実績を積むと同時に評価も着実に実施しており、目的は十分に達成されたと考える。</p> <p>また、本教育プログラムの外部への情報提供についても、各種の報告書によって積極的になされ、ホームページによる情報提供も十分である。</p> <p>特待生制度がどの程度研究科の活性化に寄与するかは意義深い考察事項であり、今後も数年間継続させ、研究科の活性化が更に推進されるよう、発展を期待する。</p>
<p>(優れた点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 従来の大学院教育をしっかり踏まえて、さらに改善し強化するために、教材関係、特待生制度をはじめとして、英語教育を含めた8項目の新たな企画を立て、それぞれについて相当な成果を上げ、他組織にも波及効果のある内容である。FD学外委員が実際に授業参観をするという制度の活用も興味深い。また、英文デスクサービスの活用率の高さも、本サービスの有効性を裏付けるデータとして評価する。 <p>(改善を要する点)</p> <ul style="list-style-type: none"> オンデマンド授業については、教育効果・成績評価も工夫すべき課題であるので、この点に関する活動状況等の報告書の提示が望まれる。また、国内外への長期派遣を行う場合に、学生の活動のより詳細な把握や、サポート体制をより充実することの検討が望まれる。